

## 資料2



# 下水道管路の全国特別重点調査 の実施について

令和7年8月6日（水）

令和7年度第2回千葉市下水道事業等経営委員会

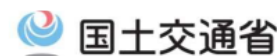
# 下水道管路の全国特別重点調査の実施について

## ●全国特別重点調査について

埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没を受け、国交省は今回と同種・同様の事故を未然に防ぎ、国民の安全・安心が得られるよう地方公共団体に対して下水道管路の全国特別重点調査の実施を要請

(2025年3月18日付)

## 下水道管路の全国特別重点調査の概要



### 1. 調査対象: 調査に際し、社会的影響が大きく、大規模陥没が発生しやすい管路から、優先度をつけて実施



### 2. 調査方法の高度化: 調査対象の全路線の管路内をデジタル技術も活用して調査を実施

○管路内調査：潜行目視またはドローン・テレビカメラ等による調査

※優先実施箇所では、緊急度がⅠ、Ⅱに至らなくても打音調査等により詳細調査を実施

○空洞調査：緊急度がⅠ、Ⅱと判定された箇所は、路面下空洞調査または簡易な貫入試験・管路内から空洞調査

# 下水道管路の全国特別重点調査の実施について

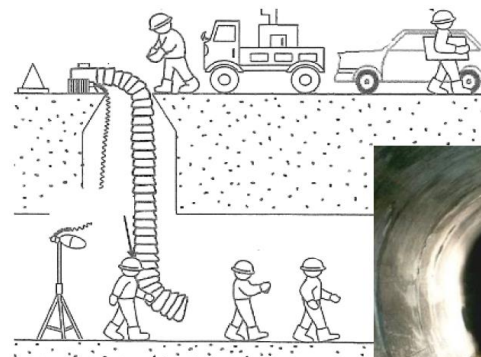
## ●本市の対応について

- ・ 調査対象 内径 2 m 以上かつ 30 年以上経過した管路 (40.2 km)  
優先実施 : 9.4 km (南部污水幹線ほか)  
優先実施以外 : 30.8 km (雨水管・合流管)
- ・ 調査方法 南部污水幹線ほか : 【浮流式カメラ・大口径カメラ】 (流量が多いため)  
上記以外の管路 : 【潜行目視】 (晴天時に管路内に入り調査)  
※打音調査などを含めて実施
- ・ 調査期間 優先実施 : 令和7年8月8日まで  
優先実施以外 : 令和8年2月末まで

浮流式カメラ (南部污水幹線)



潜行目視 (南部污水幹線以外)



# 下水道管路の全国特別重点調査の実施について

## ●進捗状況(7月25日時点)

### ・優先実施 (9.4 km)

①南部汚水幹線 ○2,000～○2,600mm L=8.5 km

②市役所前の管路 □2,700×1,350mm L=0.2 km

③黒砂水路に放流する管路 □2,000×2,000mm L=0.7 km

### ※優先実施については現地調査を完了(100%)

現在、国への報告に向け、調査結果を基に判定を行い、整理を行っている。

### ・優先実施以外 (30.8 km)

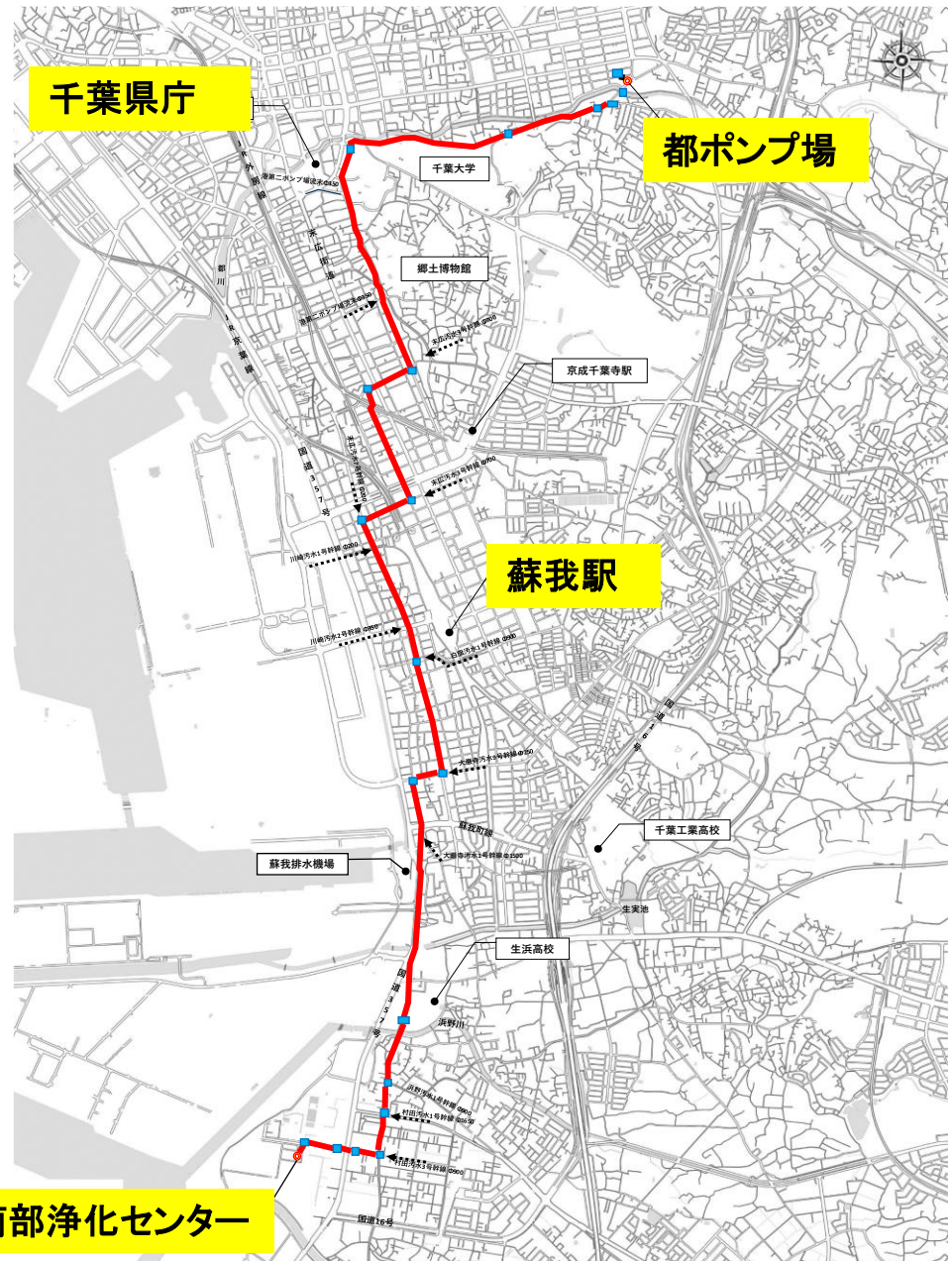
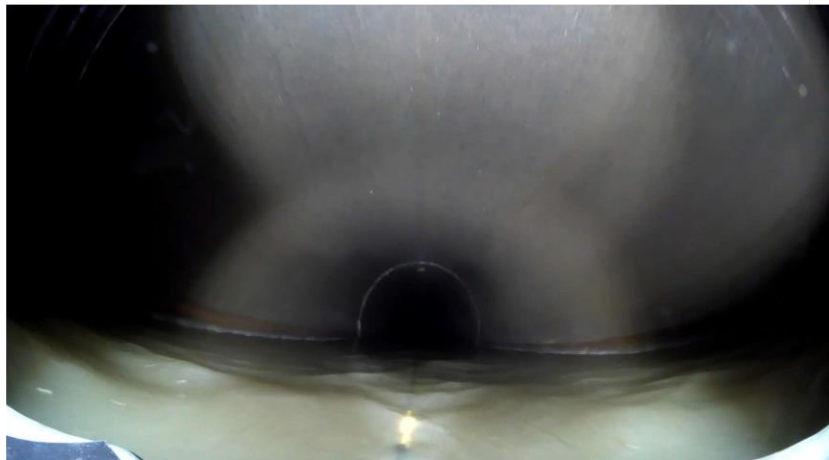
【進捗状況】 6.5 / 30.8 km (21%)

引き続き、現地調査を進め、令和8年2月末までに調査結果を国に報告する。

# 下水道管路の全国特別重点調査の実施について

## ①南部污水幹線

- ・管径 :  $\phi 2,000 \sim 2,600\text{mm}$
- ・延長 : 8.5km
- ・布設年度: 昭和52年(経過年数48年)
- ・土被り : 3.2~9.0m



# 下水道管路の全国特別重点調査の実施について

## ②市役所前の管路

- ・管径 :  $\square 2,700 \times 1,350\text{mm}$
- ・延長 : 0.2km
- ・布設年度: 平成3年(経過年数34年)
- ・土被り : 1.0~1.4m



# 下水道管路の全国特別重点調査の実施について

## ③黒砂水路に放流する雨水管

- ・管径 :  $\square 2,000 \times 2,000\text{mm}$
- ・延長 : 0.7km
- ・布設年度: 昭和48年(経過年数52年)
- ・土被り : 1.0~1.7m

黒砂陸橋

黒砂水路

R357



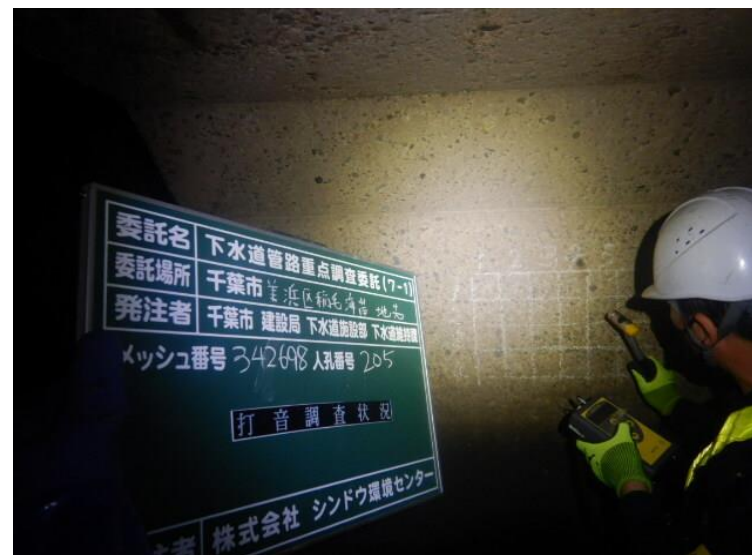
# 下水道管路の全国特別重点調査の実施について

## ●打音調査

管路の健全度や安全度を定量的に評価するため、管内から打音調査を実施  
(管に軽い衝撃を与えて発生する振動を計測する調査)

※打音調査箇所数：21箇所

※結果：特に異状は確認されなかった



## 下水道管路の全国特別重点調査の実施について

## ●優先実施以外について

- ・ 優先実施以外：30.8km（雨水管・合流管）
- ・ 調査方法：潜行目視（晴天時に管路内に入り調査）
- ・ 調査期間：令和8年2月末まで

